

## NPO 法人 故郷の海を愛する会

### 海から始まる物語 IN 2014 活動その③ 潮騒の島、神島の自然と伊良湖水道

2014年10月11日、鳥羽海上保安部と鳥羽ガイドボランティアの協力を得て、三重県の中南勢地区の小中学生42名、保護者など16名、主催者・ボランティア等を含め総勢89名が参加して上記活動が実施されました。 その様子を以下に紹介します。



09:00 集合後、初めの挨拶



高速艇乗船 09:40 出港



高速艇は速いです。子供達大喜び。



神島到着、鳥羽ガイドさん先頭に出発



神宝は鍬形台のみ展示

多くの鏡などの神宝を見てもらいたかったのですが、出張中に見る事出来ず。残念でした。



最大で直径約 21 c m の鏡が 64 点

昼食の場所に戻り、鳥羽ガイドボランティア、鳥羽海上保安部の海上保安官の話听取了。



八代神社の鏡は何処から来たか？



海上保安官による灯台の話



昼食はたこめし弁当 おいしい。



長い長い石段を登りました



神島灯台に到着



神島灯台で説明を受けました



対岸の伊良湖岬と伊良湖水道です。



わたりをするアサギマダラ



道のわきにアサギマダラの羽根が落ちていました。羽根には **FUJI 8.15 JET** とマーキングされていました。いつ神島に来たのか？ どこに飛んで行こうとしていたのでしょうか？



カルスト地形



自然観察



帰りの船で救命胴衣の説明



集合写真 鳥羽マリンターミナルに於いて。

台風接近で主催者はやきもきしましたが、予定通り実施が出来て喜んでいきます。  
高速艇での神島往復、子供達はそのスピードにびっくりし、船酔いする間もなく、到着となりました。  
神島灯台では、神島灯台の歴史、性能など、又、目の前に見える伊良湖水道について海上保安官から丁寧な説明を受けました。 帰りの船で救命胴衣の取り扱いについても話してもらいました。  
鳥羽ガイドボランティアには神島の八代神社の神宝の話とか、神島の自然、風俗などの説明を受けました。  
渡りをするアサギマダラを見る事が出来て、子供達の記憶にも残ることでしょう。